

永田 ゆづる 県政ニュース

vol.08 令和7年(2025)5月
発行 奈良県議会議員 永田ゆづる

Nara Prefectural Administration News



プロフィール

- 早稲田大学 商学部 卒業
- 元NHK報道記者 奈良・仙台・東京社会部(皇室・警視庁担当)

その他の活動(所属)

県監査委員/総務警察委員会/観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会
議会改革推進会議/リニア中央新幹線建設促進議連/京奈和自動車道建設促進議連
がん対策推進議連/殺処分ゼロをめざす議連/森林・林業・林産業活性化促進議連

趣味

テニス・サウナ・愛犬 チワワと散歩 奈良市西大寺地区在住

永田の説明書



新年度予算について

奈良県議会の2月議会は、物価高騰対策や防災ヘリコプターの更新など、総額5600億円余りの新年度予算案が可決されて閉会しました。私は、本会議で「開かずの踏切」による大和西大寺駅周辺の渋滞問題など4つのテーマを取り上げて質問しました。また、3月18日までの1週間にわたって行われた予算委員会では、年末年始に救急医療がひっ迫したことや訪問看護職の離職率がとりわけ高い問題など、20余りのテーマについて意見しました。

新年度予算案は、県民の暮らしに欠かせない内容ばかりであるものの、奈良県と韓国・忠清南道の国際交流事業として計上されたK-POPコンサート予算は一旦白紙に戻して、交流の方法について再度検討するべきと提案しました。去年12月の県議会で示された2億7500万円案は、議会での可決後、わずか1ヶ月半ほどで2900万円へと大幅減額されました。多額の公金を使うことについての妥当性の検証が不十分であった上、内容の変更が著しく目的の一貫性に欠けていると考え、当初案に続いて疑問を投げかけました。

このため、K-POPコンサート関連予算のみを削除する修正の予算案を提出しましたが、残念ながら過半数には届きませんでした。今後、皆様からのご意見を踏まえながら、県民目線を忘れずに議会のチェック機能を果たしていきます。

3月5日:本会議一般質問



本会議 一般質問

大和西大寺駅周辺の渋滞問題改善を訴え

解決すべき理由や背景

- 1 商業施設や学習塾、オフィスなど目的地となる場所が多い
- 2 駅周辺の西大寺・伏見地区の人口は5年で5.3%、20年で15.2%増加中

Check!

現場での解説動画は
コチラ



質問&意見

大和西大寺駅の周辺には、ピーク時の遮断時間が1時間のうち40分以上となる“開かずの踏切”が3箇所存在します。県内で40分以上も遮断される踏切は他にありません。特に、駅のすぐ西にある菖蒲池第八号踏切道は、1時間のうち最大で51分間も閉まり、解決すべき切実な課題です。

駅周辺は、商業施設や学習塾、オフィスなど目的地となる施設が多く、駅舎の高架化こそが“開かずの踏切”を解消する抜本的な対策です。駅周辺の賑わいづくりなど、将来的な経済発展につながる副次的な効果も期待できます。

しかし、高架化の完成までには3、40年の期間が見込まれています。高架化を進めることが未来の奈良県民への責務とすれば、踏切が開いた時間により多くの車両が通行できる即効対策を進めることこそ、今を生きる奈良県民への責務だと言えるのではないのでしょうか。高架化とともに、即効性のある対策を同時に進めるべきです。



菖蒲池第八号踏切道

県の答弁

“開かずの踏切”などへの対応は、早期かつ抜本的な対策が必要だ。この問題を解決するためには、高架化により踏切自体をなくすることが最も有効だが、高架化が完成するまでの間の即効対策について、奈良県、奈良市、近鉄の3者で協議し、知恵を絞っていく。

K-POPコンサート再検討を提案

委員会質問の
動画はコチラ



Check!

意見

去年12月、奈良県が2億7500万円の公金を支出してK-POPコンサートを奈良公園で行うことが決まりました。公金負担額が大きいことや、国際交流の手法として疑問があることに加え、奈良市平城宮跡・天平祭が「費用対効果がない」などとして廃止された中での出来事であり、私は開催に反対しました。

その後、県民の皆様からも多くの反対のご意見が寄せられ、県はわずか1ヶ月余りで大幅に内容を変更しました。変更後の予算は2900万円で、会場はJR奈良駅すぐそばの“なら100年会館”で1400人余を無料招待するというものでした。

私は、予算委員会での議論を通じて、**当初の2億7500万円案は、その妥当性を問う議論が県庁内で不十分であった上、その後の2900万円案との差も著しく目的の一貫性が見出しにくいと考えました。国際交流は重要であるからこそ、その方法について一から考え直した上で、本来の友好提携15周年となる2026年の交流実施を目指すべきです。**

このため、K-POPコンサート関連の予算のみを削除した修正予算案を提出し、12月に続いて開催に反対しました。

予算の変更点

	12月議会	2月議会
予算額	2億7500万円	2900万円
来場者	9000人	1400人余
会場	奈良公園	なら100年会館

約1/9
大幅減額!

奈良県の検討経緯

令和6年 2月 15日	両県知事 K-POPコンサート開催に合意
4月 16日	奈良県知事 奈良公園での開催を指示
4月 19日	コンサートを有料で行うことが不可と判明
9月 17日	開催費用が総額2億7500万円と判明
10月 3日	2億7500万円案を議会に提出することを決定
12月 16日	県議会で可決も 反対の声多数
令和7年 2月 7日	奈良県 当初案から 2900万円案へと大幅変更

“奈良の木材”生産増に向けて

意見

奈良県は、面積の約77%、28万3,000haを森林が占める林業県であり、室町時代から続く“吉野材”ブランドを誇ります。しかし、奈良県の木材生産量は14万9000立方メートルと、目標に掲げる20万立方メートルには及んでいません。

木材生産量を増やすため、**柱や梁などに使われる構造材の活用を加速させるとともに、木造建築に特化した人材育成を進めるべきです。**木造の性質を正しく理解し、住宅などについて適切な提案ができる建築士を増やすことが、県産材の生産量増加につながります。ゆくゆくは、県立の森林アカデミーを開校して木造建築に特化した実践的コースを作っている

岐阜県のような教育機関の設立も視野に検討していくべきです。**奈良の木への需要を作り出し、林業や市場、それに製材所の振興など、川上から川下の発展につなげるための取り組みを進めていきます。**



“登大路地下歩道”の空間改善へ

意見

奈良公園から東大寺の手前まで続く“登大路地下歩道”が改善されることになりました。**観光客が鹿や奈良公園を見て奈良にきた感動を覚えるものの、地下歩道の通路が薄暗く、現実に引き戻されてしまいます。“奈良にきた”という気持ちを持続できるよう歴史と魅力を存分に感じてもらえる空間にするべきだと考え、私は、去年11月の観光委員会で改善を要望していました。今回、新年度予算に、登大路地下歩道の空間を改善するための予算が付きしました。“奈良を感じられる”ゲートウェイへと生まれ変わるよう、具体的な議論を進めていきます。**



登大路地下歩道 出入口



登大路地下歩道

ご要望・相談は
こちらから↓



LINE

永田ゆづるの“ゆづれない”
チャンネル開設しました!



「いいね!」「チャンネル登録」
お願いします!
チャンネルご視聴はコチラから▶



県政報告会のお知らせ

お気軽にご参加ください!!

先着90名
入場無料

永田ゆづるが**声を聴く**

日時/令和7年6月7日(土) 14:00-15:00
場所/奈良商工会議所会館 5階 大ホールA
〒631-8586 奈良市西大寺南町8-33

少人数での座談会・県政報告も行っていますのでお気軽にお声がけください。

奈良県議会議員 永田ゆづる 奈良市登大路町30(県議会控室)

TEL:050-3696-1053/FAX:0742-90-1108

Mail : info@yuzurunagata.jp (永田 ゆづる 公式サイト) <https://yuzurunagata.jp/>



愛犬・チロロ
3歳♀

